

P/N PC0926A-C2

Firmware Version 1.0 Document Revision 1.5

接続仕様

本装置は Pelco-P プロトコルを東芝テリー製 PT2000 プロトコルにコンバートします。

設定

DIP-Switch

8	7	6	5	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---

運用

オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
----	----	----	----	----	----	----	----

双方向ループテスト

オン	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オン
----	----	----	----	----	----	----	----

単独 ループテスト

オン	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オフ
----	----	----	----	----	----	----	----

内部ジャンパー

基板 Jumper	説明
SW1	必ず NRM の設定でご利用ください。
SW2	DIP-Switch 運用はオールオフ
SW3	通常時は NRM Firmware 書き込み時は WRITE 注)このジャンパーは絶対に電源をオフにしてから変更ください。さもないと CPU が破損します。
SW4	ショート
SW5	ショート
SW6	RS-485 終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW7	RS-422 終端抵抗 受信側の終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW8	RS-422 終端抵抗 送信側の終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW9	ノンサポート 必ずオープン
SW10	ノンサポート 必ずオープン
SW11	必ずクローズ
SW12	必ずクローズ
SW13	ノンサポート 通常はクローズ
SW14	ショート
SW15	ショート
SW16	ノンサポート RS-485 終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW17	ノンサポート RS-422 終端抵抗 受信側の終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW18	RS-422 終端抵抗 送信側の終端抵抗 複数をバス接続する場合先端と終端はショート、単独使用では必ずショート。
SW19	ノンサポート 必ずオープン
SW20	ノンサポート 必ずオープン
SW21	必ずクローズ
SW22	必ずクローズ
SW23	ノンサポート 通常はクローズ
SW24	C1 または C2 どちらを使用するか選択します。 このシステムでは 232C をショート
SW25	C3 または C4 どちらを使用するか選択します。 このシステムでは 232C をショート

通信仕様

C1 コネクタ

Dsub-9P-オス(DTE仕様) RS-232C 双方向通信
4800bps ノンパリティ ストップビット 1

C2 コネクタ RJ45

未サポート

C3 コネクタ RJ45

未サポート

C4 コネクタ

Dsub-25P-オス(DCE仕様) RS-232C 双方向通信
9600bps ノンパリティ ストップビット 1

Pコネクター PJコネクターで添付のACアダプターをご利用ください。

A コネクター Line レベルのオーディオ信号が入力可能、DTMF シグナルをデコードします。この機能は Firmware の仕様により実装されます。

添付品

AC アダプター AC100V 入力 DC12V 1A 1ケ

実際の接続例

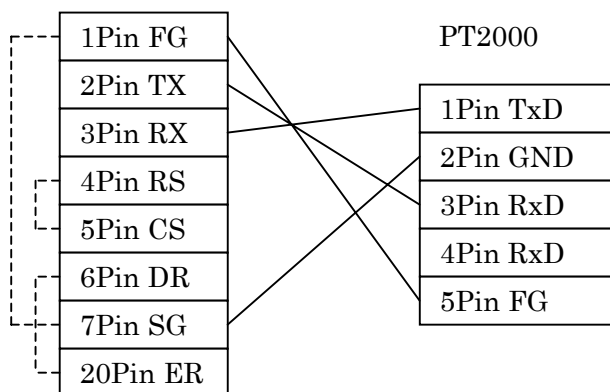
SmartSight S1500e エンコーダとの接続の場合

市販ケーブルの場合はオス-オスのクロスケーブルをご利用ください。

東芝テリー社 PT2000 との接続

PT2000 は特殊な防水コネクタ仕様となっています。 よって本機との接続は以下の要項にしたがってコネクタを作成ください。

本機の C4 Dsub-25P は雄ピンの DTE 仕様となります。



*) PT2000 には RxD が二つありますが、キャパシタンスの観点からどちらかひとつとしてください。

----- 点線部分は基板上で実施しています。

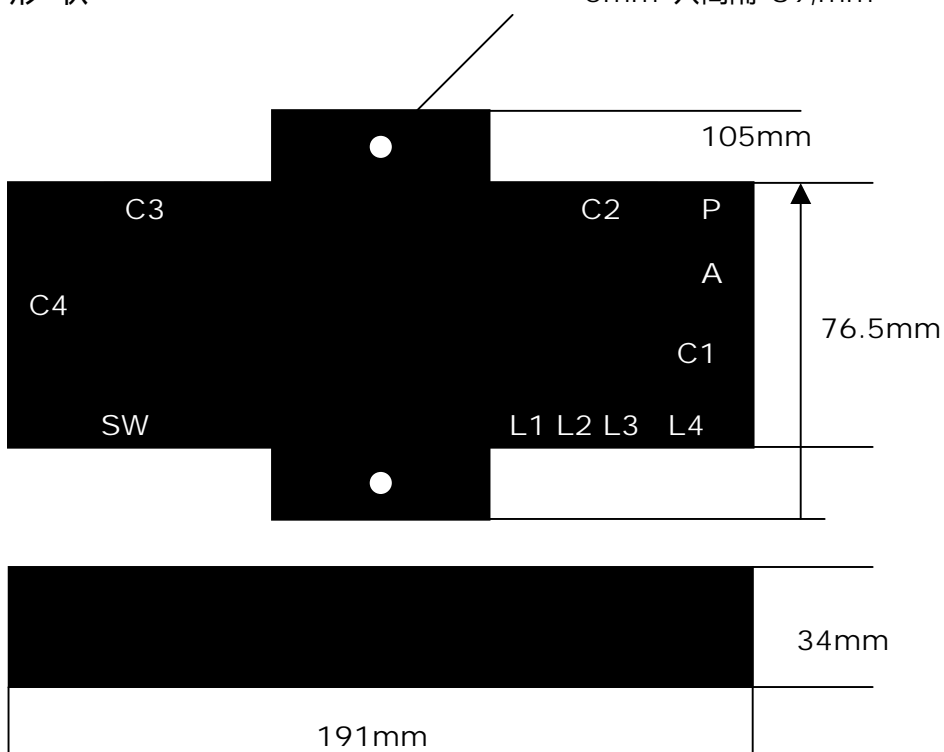
取り扱い上の注意点。

コネクタはしっかりと螺子固定する。

一般的なケーブルを RS-232C で利用する場合には 15m 以内としてください。 低容量タイプでは距離の延長が可能です。

形状

5mm 穴間隔 89,mm



電源

AC100V アダプター添付 本体には 12V までの安定化された電圧が必要です。消費電流 最大 200mA
別仕様の電源を使用する場合、DC-DC 品質としてください。
トランスと整流素子仕様では ROM 書き込みは不可能です。

パワージャック仕様

2 . 1 mm (内径) 5 . 5 mm (外径) φDC ジャック 極性は外マイナスです。

標準指定品 マル信無線電機製 MP-121M



環境

作動時周囲温度 -5 から+60

5%-95% 結露なきこと。

Firmware 仕様 識別品番 PC0926C2-REV1.0

本装置は Pelco-P プロトコルを PT2000 の仕様に準拠させることが目的である。

対応機能一覧

Pan-右 PT2000 の速度は三段階

Pan-左 PT2000 の速度は三段階

Tilt-上 PT2000 の速度は三段階

Tilt-下 PT2000 の速度は三段階

ズーム イン / アウト

フォーカス 近 / 遠 ワンプッシュオート(AUX3-OFF)

Preset & Go 最大 255 個対応

但し、Preset 99 はホームポジション動作とする。

ワイパー AUX1 ON-OFF

デフロスター AUX2 ON-OFF

強制停止 AUX3-ON

Pan リミテーション AUX4-ON

Tilt リミテーション AUX4-OFF

リミテーション設定 AUX5-ON

リミテーション解除 AUX5-OFF

そのた、デバイスのアドレスは全て
0 のグローバル指定オンリーとした。

PT2000 の仕様制限は PT2000 の仕様を参照の事。

オペレーション上の制約設定はクライアント側で実装すること。

Firmware Version 1.0 では上記が実装されます。

以後は時期を見て、オートパン、プリセットシーケンスの実装を予定しています。

LED の表示に関して。

L4 は電源投入初期化完了でカメラにコマンドを送出して OK の返答があるまで消灯。 タイムアウトで点灯。

L1 点灯はオーバーランエラー

L2 点灯はフレミングエラー

注)PT2000 でエンドレス、リミテーション機能を使用する場合
に一旦 PT2000 の電源を切る必要がある。

この時に PT2000 のシリアルラインがアクティブになるのでこれを受信しようとする同期が無いとフレミングエラーで点灯する。 消すためには一旦 PC0926A-C2 の電源をオフする必要がある。 運用には支障が無いので特に問題は無い。

L3 点灯はパリティエラー

電源投入シーケンス。

運用上はどのような手順でも動作自体には支障はありませんが、以下の手順を推奨します。

PT2000 の電源投入、イニシャル動作(キャリブレーション)完了後に PC0926A-C2 の電源を投入。

PC0926A-C2 の L4 LED がこの時点灯しない場合は以下の事が考えられます。

PT2000 の機器異常 伝送経路の断など。

PC0926A-C2 の機器異常(電源異常)

フレミングエラーの回避、カメラパワーオフからオンでイニシャル動作完了後にサイド PC0926A-C2 の電源も OFF-ON によりエラー表示は消灯します。